

紀南の4人本大会へ

国体カヌー近畿大会

第73回国民体育大会カヌースプリント競技の近畿ブロック大会がこのほど、日高川町の美山漕艇場であった。紀南から一般と高校生の計4人が上位に入り、9月30日～10月3日に福井県あわら市である本大会の出場権を得た。

の中高生で構成する県代表(栗原萌衣、山本妙湖、尾崎由依、谷地あい)が滋賀県代表に僅差で敗れ2位で、本大会出場を逃した。

成年男子K-1(カヤックシングル)で、県教育センター学びの丘の宮田悠佑選手(27)が優勝。成年女子K-1で県教育庁の西山史扇選手(27)が優勝した。成年男子C-1(カナディアンシングル)では神島高校教諭の阪本直也選手(30)が3位に入り、本大会へ出場枠3に入った。本大会へ出場枠が4の少年男子K-1

1で、田辺工業高校2年の富塚晴之君(16)が2位だった。高校からカヌーを始めた富塚君は、初の国体出場権を獲得。「2年生で国体出場はい経験になる。会場の状況を見過ぎたい。入賞できたらいい」と話している。

このほか、本大会への出場枠が1の少年女子K-4(カヤックフォア)は、田辺市内



西山史扇選手



宮田悠佑選手



富塚晴之君



阪本直也選手